

そのおき

第79号

園沖公民館
発行：中村恵一

50年経過して 新たな園沖、 何をすれば？



自治会長
小池 敏幸

第55回総会において、自治会長の大役を仰せつかりました3ブロックの小池です。歴代会長は、園沖が造成されたころに成人を迎えていた素晴らしい方々が、園沖を作り上げていただいたと思います。

私が園沖へ入居したのは10歳で、サッカーが好きな子どもときです。当時、遊ぶところとは中央遊園地のみで、あとは、裏山に行き探検をしていた時代で、自治会や育成会がどうなっているかも知りませんでした。

なぜ園沖は、そのような行事がないのだろうか？ 小市地区では新参者だからだと思っていました。

その後、中学、高校を卒業して、長野で就職し園沖において、行事に参加するのは運動会だけでした。地区でサッカークラブを作るので指導してくれないか？ とオヤジに言われたが、自分のサッカーがあったので断るなど、皆さんが頑張っているのに、なかなか協力をしませんでした。

憶えています。その後、公民館の役員を3回務めさせていただきました。自治会活動は平成25年から5回目になります。

いちから園沖を今の状態まで作り上げていただいた先輩の話聞き、毎回、勉強させていただき、園沖が当時に必要だったこと、今必要なことをいろいろ教えていただいています。

時代とともに 変わる事と、 変わつては いけないもの

今年度も、公民館長を仰せつかりました中村です。よろしくお願いします。

過去の記念誌を見ると二年連続での館長経験者が数名いらっしゃいます。

小池会長もおっしゃっていますが、私も若いころは、自治会や公民館活動にはあまり協力できませんでした。自治会や公民館役員の人選問題は、園沖だけではなく他地区も同

園沖も高齢化が進み2世が残っている方は少なくなりました。しかし、新たに入居していただく方は徐々に増加しています。既に「園ネット」では進めています。新しく入居された未就学のお子様と親御さんが参加でき、昔からいる区民と交流ができる場を作っていたいただいています。

要で、何をすれば区民の皆様が安心して過ごしていけるのかを考えていきたいと思えます。仕事もまだ週4日勤めに出ている状況で、既に5か月を経過してしまいい何もできず。中には継続不可能として中止に追い込まれた行事もあるようです。



公民館長
中村 恵一

じ問題を抱えている地区は少なくありません。しかし、園沖には、「勢年団や園ネット」があり、公民館活動のサポートをして下さることは、他地区にはなく素晴らしいことだと思います。

時代とともに、全国の行事が変わっています。これは仕方がないことです。さらに、コロナ禍を経験して、地域の祭りや花火大会も変化してい

園沖の公民館活動の行事も、毎年、夏祭りなどを行うことの意義はあると思います。ただし、内容はその都度変わっても良いのではないのでしょうか。今後は、地域の皆さんとコミュニケーションを大切にした行事を展開したいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



酷暑の中、 5年ぶりの開催…

「そのおき夏祭り」

令和6年8月11日(日)、コロナ禍で中止になっていた「夏まつり」が開催され、多くの区民が集まりました。

近年、夏の気温が上昇しており、21年から環境省が熱中症警戒アラートをを運用していましたが、今年の4月からさらに「熱中症特別警戒アラート」を新設された中でしたので、午後3時からにして、出来る限り屋内で行うことにしました。

屋内では、園ネットの皆さんの協力のもと「スマイルボウリング」の体験会を開催。それと平行して、子どもたちには「かき氷・飲み物の販売」、「スーパードールすくい」、「スイカ割り」を行い、大人の皆さんには「ビール祭り」を行い、夜には「花火大会」を開催。

多くの皆さまにご来場いただき、5年ぶりの夏祭りが行われましたが、楽しんでいただけましたでしょうか？ 協

力いただいた勢年団、園ネットの皆さま、ありがとうございました。来年度は、さらに楽しい内容になるように期待しています。



9月1日(日)、「防災訓練」が開催されました。大規模災害が起こると、市や消防署、警察、防災関係機関は総力で活動に取り組みますが、同時に発的に119番通報が入り、道路の破損・ライフラインの遮断などの要因で、迅速な救出救助活動が行えない状況になる場合があります。

災害の規模が大きくなればなるほど、「自助・共助」が重要になります。普段から近隣の方と顔見知りになり、協力態勢を作っておきたいものです。

◆**防災訓練はなぜ必要か**
 防災訓練の目的は、その地域のことやどんな人がいるのかわかることでもあります。なぜなら、それが自助・共助のための大きな一歩となる機会となるからです。

◆**地域の役割を理解する**
 団休行動をとるにあたり、地域の人たちと協力し、自分のやるべきことを理解しておきましょう。災害が大きくなるほど、一人の力でできることは限られてしまいます。

◆**防災資機材の習得**
 災害時に使用する資機材は、日常生活では利用することのないアイテムも多く、安全に使えなければ救う側が怪我をしてしまい、二次災害となってしまう。

◆**自分でもできる防災訓練**
 コミュニティの最少単位である「家族」でも防災訓練はできます。防災訓練後に自宅に帰ってから、または「防災の日」などを利用して、定期的に「防災」をテーマにした家族会議も立派な防災訓練となるでしょう。事前に以下のような安全対策を心掛けるとよいでしょう。

- ◎家族での役割分担
- ◎災害時の連絡方法、避難経路や非常持出品の点検
- ◎家具・電化製品の固定
- ◎収納の工夫
- ◎ガラスの飛散防止対策
- ◎家の中の整理整頓
- ◎消火器類の確認

事前にできることから日々積み上げていくことで、災害時には少しでも危険要因を減らすことができ、あわてずに行動できるようにしましょう。

◆**積極的に参加しよう**
 最近は防災訓練のマンネリ化を防ぐため、フリーマーケットや地域の祭りなど楽しみの要素を加えたり、机上訓練やインターネット

防災訓練 自分たちの命は、 自分たちで守る



を活用するなど、訓練の内容も多様化しつつあります。しかし、本当に必要なことは、ただ参加するのではなく、「いざという時どうするか」ということをイメージすることです。

災害の規模が大きいくほど、自助・共助が必要となります。自分が災害を生き抜くため、また、周囲の人を災害から救うためにも、地域の人たちとの交流が図られる防災訓練には積極的に参加していただきたいと思えます。

各種サークルの紹介 楽しいサークルが開催されています

◆園沖勢年団

代表者：加藤一城さん

開催日：奇数月の第2土曜

◆園沖マレットゴルフクラブ

代表者：松田松子さん

開催日：毎月2回

第1・3水曜

◆園沖歴史を語る会

代表者：吉澤憲一さん

開催日：随時

◆園沖野菜クラブ

代表者：西澤茂高さん

開催日：毎月1回

第1土曜日

◆園沖はつらつクラブ

代表者：荒井訓夫さん

開催日：毎週金曜日

◆ひまわりクラブ

代表者：金津のぶ子さん

開催日：毎月1回

第3火曜日

◆マージャンクラブ

代表者：奥山勇さん

開催日：毎週水曜日

コラム

正しく「水分補給」していますか？

今年、9月になって、まだまだ暑い日が続いています。身体にとって、栄養と同様に大切なのが「水分」。その水分が不足する「脱水症」は、兆しに早く気づき水分補給することです。

体格や生活習慣によっても異なりますが、人間は排泄(尿・便)、呼吸、汗などから1日に約2500mlの水分が失われます。それを補うために、

飲み物や食べ物から同じだけの水分を摂り入れなければいけません。体格や食事内容にもよりますが、食べ物に含まれている水分を除き、飲み物から最低でも1日1,200ml程度の水分を摂ることが推奨されています。1,200mlに満たない場合、食事に汁物を1品追加したり、水分補給を目的にしたゼリー飲料などをとりましょう。

今後の主な行事予定

◆小市四地区運動会

毎年、松ヶ丘小学校のご協力のもと9月下旬に開催していましたが、今年度も中止になります。

年齢関係なく参加できる行事案を考えていきませんか。

◆研修旅行

今年度の行き先は、「小諸蒸留所」・「菱野温泉」・「海野宿」ここでは、小諸蒸留所の説明をいたします。

この数年、「ジャパニーズ・ウイスキー」が世界から注目されています。そんな中、昨年6月、構想から10年目に「小諸蒸留所」が完成しました。昨年はジャパニーズウイスキーの生誕100周年の年でした。

日本で最初にウイスキーを作ったのは、NHKの朝ドラ『マッサン』で名前が知れた、サントリーの創業者鳥井新次郎と、ニッカウキスキーの創業者竹鶴政孝です。

多くのご参加、お待ちしております。

◆焼き芋大会

この行事は、園ネットの主

催になります。公民館も協力しています。

肌寒い時期のほかほかの焼き芋の味は格別ですね。昨年は、多勢の方に参加をいただきました。

今年も10月に開催を予定しています。

◆しめ縄作り講習会

一年を締めくくる行事になります。自分で作ったしめ縄で年越しをするのも良いものです。12月中旬の開催を予定しています。多くの参加者をお待ちしております。

◆どんど焼き

年が明けまして、最初の行事になります。この行事は1月の小正月に行われ、お正月の縁起物をお焚き上げしたり、お餅を焼いて食べたりする

る火祭りです。地域によっては、「道祖神祭りや三九郎」などとも呼ばれています。

今年度の公民館役員

館長 中村 恵一

総主事 宮島 圭司

会計 宮沢 利子

体育部 小池 和彦

広報部・教養部 松本 孝子

企画部・文化部 中村 恵一

編集後記

館報『そのおき』第79号を、無事お届けすることができました。

今年の夏は、昨年同様に各地で連日、最高気温が30℃以上の猛暑日が続き、9月中もまだ30℃を超える真夏日を記録するといわれ、秋の到来は平年よりひと月ほど遅れるとの予報です。皆さまにおかれましては、ご自愛ください。

9月以降の公民館活動にも皆様のご協力をどうぞよろしくお願いします。

(編集委員)

